

寒川のまちづくりに向けたアンケート 集計表

アンケート実施期間 平成25年8月30日～9月20日

アンケート依頼団体数 211団体

アンケート回収数 127団体

アンケート回収率 60.2%

アンケート依頼方法: 郵送・直接・関係機関を通じて

アンケート回収方法: 返信用封筒による回収・直接窓口への提出

平成26年6月

寒川町まちづくり推進会議

※回答内容については、複数の回答を頂くものや、未回答のものもあるため、各項目の回答数の合計が、回答団体の総数と一致しない場合があります。また、%表示が端数の関係で合計が100でない場合があります。

1 寒川町に自治基本条例が定められていることを知っていましたか。

	回答数	割合
① 名称だけ知っていた。	44	34.65%
② 町民と町が協働してまちづくりを進めるということなど内容もある程度知っていた。	39	30.70%
③ 知らなかった。	44	34.65%

(①、②両方〇している回答あったが、②で整理)

※回答の中では、条例に関して内容まで知っているが30.71%で、名前だけ知っていると併せると65%を超えています。アンケート調査直前の8月に条例に関する広報を行っている中で、約35%が知らないという状況であり、広報が読まれる工夫とともに条例の認知度を高めることが依然として課題となっています。

属性	名前だけ知っていた	町民と町が協働してまちづくりを進めるといことなど内容もある程度知っていた	知らなかった	
NPO	66.7%(2団体)	0	33.3%(1団体)	回答数3
ボランティア団体	23.1%(3団体)	23.1%(3団体)	53.8%(7団体)	回答数13
生涯学習団体	27.3%(18団体)	30.3%(20団体)	42.4%(28団体)	回答数66
生涯学習・ボランティア団体	40%(2団体)	0	60%(3団体)	回答数5
その他	21.4%(3団体)	71.4%(10団体)	7.1%(1団体)	回答数14
不明	61.5%(16団体)	23.1%(6団体)	15.4%(4団体)	回答数26

自治基本条例の認知度については、生涯学習団体が、名前だけではなくその内容もある程度知っている割合が高かったものの、NPO、ボランティア団体、生涯学習団体等、団体の属性によって自治基本条例についての認知度に大きな差は見られなかった。

⇒すべての町民に自治基本条例を知ってもらい理解してもらうのは重要なものの、協働の担い手として有力なこれら団体に絞って、理解度を高めてもらうなどの広報・周知戦略の優先順位化を示すものともいえる。

この条例では、町はまちづくり活動を行う団体に対して活動に有用な情報の提供等の必要な支援をすることになっており、皆さんの普段の活動がまちづくりに結びつくことが考えられます。(条例第23条 資料10ページ)。

2 町からあなたの団体の活動に必要な情報は、伝わっていますか。

	回答数	割合
① 伝わっている。	60	48.39%
② 伝わっていない。	35	28.23%
③ 活動上それほど必要でない。	29	23.39%

(未回答2)

※約50%の団体が伝わっていると回答しています。半数の団体は町からの情報提供について必要な情報が伝わっていると受け止めています。一方約30%の団体は伝わっていないと回答しており、理由は3で示すように分かれています。

属性	伝わっている	伝わっていない	活動上それほど必要でない	
NPO	33.3%(1団体)	33.3%(1団体)	33.3%(1団体)	回答数3
ボランティア団体	38.5%(5団体)	61.5%(8団体)	0	回答数13
生涯学習団体	51.5%(34団体)	21.2%(14団体)	25.8%(17団体)	回答数66
生涯学習・ボランティア団体	40%(2団体)	60%(3団体)	0	回答数5
その他	71.4%(10団体)	28.6%(4団体)	0	回答数14
不明	36.0%(9団体)	20.0%(5団体)	44.0%(11団体)	回答数25 (未回答1)

団体の属性によって活動に必要な情報は異なるものの、全体として伝わっていない傾向。その理由も、提供される情報のわかりにくさと、情報を伝える手段のわかりにくさ、双方に原因があることが分かった。生涯学習団体等、町からの情報が活動上それほど必要ではないと感じている団体があることがわかった。

3 前問で②の場合、その主な原因は何だと思えますか。

① 提供されている情報が分かりにくい。□

② 情報を得る方法や場所（ホームページ・町広報など）が分かりにくい。

③ その他

	回答数	割合
①	11	32.35%
②	11	32.35%
③	12	35.29%

(未回答1)

※町から団体に必要な情報が伝わっていないとする団体からの理由はほぼ3等分となったが、自由意見に多く意見が寄せられましたが、適切で分かりやすい情報提供が必要と考えられます。

①提供されている情報が分かりにくい

NPO	0	回答数11
ボランティア団体	18.2%(2団体)	
生涯学習団体	36.4%(4団体)	
生涯学習・ボランティア団体	9.1%(1団体)	
その他	0	
不明	36.4%(4団体)	

②情報を得る方法や場所（ホームページ・町広報など）が分かりにくい。

NPO	9.1%(1団体)	回答数11
ボランティア団体	18.2%(2団体)	
生涯学習団体	45.5%(5団体)	
生涯学習・ボランティア団体	0	
その他	27.3%(3団体)	
不明	0	

＜提出されたご意見＞

＜行政への意見＞

- 町が主体となって行う内容に協力出来る活動依頼等が無いに近い。
- 情報を伝えるべき相手に的確な方法をとれば伝わると思う。情報の提供側として協働という手段を使って課題を解決して行こうと言う決意が必要。そのような観点での情報提供が少ないと感じる。
- 情報が来た事がなく、又、ホームページも見えてないので、どのような情報なのかわからないし、伝わっていない。
- 議会討議での失望感が先行、続けて行く気が起こりにくい。・ホームページは見られないもの、期待しないこと。
- 配布、掲示だけで終わっているからではないのだろうか？
- 内容がない。ホームページは開いても目的の内容にたどりつかない。文連の集まり等を利用しPR勉強会を開くべき。

＜行政への要望＞

- 毎年参加しているイベントについては、お知らせを頂きますが、新しく公募するイベントについても担当課が異なっても、お知らせ頂くと助かります。

＜公民館への意見＞

- 公民館活動をしているのだから、今までに何らかの説明があつてしかるべき、公民館活動のあり方もより明確になるのでは。

＜公民館への要望＞

- 活動をするにあたって、町広報の行事のあることを教えてほしい、場所を確保する書類を提出する時まで知らなかった事があり大変迷惑した！
- 公民館活動についてだと、てんでんバラバラで情報の提供をまとめる場所がほしい。

＜その他＞

- 知りたいことが、個人情報のため、仕方がないと思う。
- 自主的に立ち上げたグループで会場も転々としてきましたが、今は社協を使わせて頂いてます。ボランティア団体です。

4 町から提供された方がよいと思われる情報（資料）がありましたらご記入をお願いします。（自由意見）

＜提出されたご意見＞

＜行政への意見＞

- 住民投票の規定が本条例施行後6年も経ていながら何も進展していない。町が恣意的に制定を遅らせていると思われるが、その経緯が6年間何も町民に知らされていない。
- 町民に向けては、広報での紹介となるのは適されていますが、個人が知り、団体となると、協力のお願のような情報提供が有るとうれしい。(例)子育て支援、イベント、施設イベントへの協力のつなぎ役。現状として自主的に出向いている。
- 名簿類がこの頃ありません、町内会やサークル等身近なもの。
- 年寄りの情報が少ない気がします。
- 「広報さむかわ」はとても重要だが、各家庭に他の情報が多いため、内容を見られず廃棄されるのでは？
・寒川町と町の外部団体との連携がわからない。(子育て支援センターにポスター掲示をお願いしたら、役場に行ってくれと言われた。など・・・)
- 1. まずは町が強い意志を持って「協働によるまちづくり」を真剣に進めてゆくのだという決意を情報として町民に示すことが重要と考えます。振り向かせるのは大変なことです。2. 具体的な案件ではないが(私どもの組織が協働の対象とすると言う意味でもなく)①寒川町が所管しているすべての業務(予算が一円でも付いているもの全て)の公開…これが協働の対象としての母数になる。②行政が協働の対象と考えている業務の公開。まだないということも無いと思います。
- 余剰人間がある時は広報で伝える。町でよく表彰しているが町の職員を表彰するのはおかしい、自分の身内を表彰しているに値する、仲良しクラブではない。福祉の人をとく、それはあたり前の事です。町の無駄に気付いていない事が多い。町民の目線からアドバイスを受ける心が大切。
- ごみの分別の方法が変わったので、もっと詳しい資料が欲しい。

○活動報告や見学会をしたい、広報に載せてほしい、という時もどこにお願いしたらよいかという情報、聞きにいった人だけわかるというのは、いかがな物でしょうか。

○町の自然環境の方向性を更に明確に出し、「水と緑」のまちを大きく作り上げる為に、例えば何の種類の緑を増やして行く目標などを設定したい。

○先日、センターのポストでH24～25年度版”寒川町くらしの便利ガイド”を見ました。本来このガイド紙はポストではなく各家庭に、又は次の広報にさし込まれるべきである物と思います。(大切なお知らせです、気配りをお願いします。)

○今月の目玉！！の様な記事(ニュース)を1枚のペラで広報紙に挟み込む等、町民の情報交換としての活用、生活に困窮しているお年寄りへのボランティアの要請(個人として)。

○個人の(秘密、人権に関わる話し相手)なので、役所のどこと係わるのか分かっていません。社協とは常に話し合っていますが…。活動も100%とはいきませんが、担当？と関わることで、少しでも話し相手が出来ればと思っています。

○かつて、町の個別調査で雨水排水の調査がされたが、その結果の報告がないので良かったのか、改善の必要があったのか分からない。

<行政への要望>

○私共のサークルは、町の広報等を録音し、そのテープ、CDを目の不自由な方々の家に無料で配布して居るのですが、この情報を知らない方々が居ると思われるので、町で周知して頂きたい。

○ホームページ、町広報のみでなく、ダイレクトメール等で分かりやすくしてほしい。

○当会の場合のみで云えば、①当会と同様な内容で開催した際のレシピ公開。②当会と同様な内容で開催している団体の横串会議。

○町の年間の行事予定の早期公表。(3月には発表、毎月見直しと募集)

○すみよい町づくりのための活動をしているグループ、団体などの紹介など情報がほしい。

○必要としている情報というより、多くの人に活動を知って欲しいので、その情報の伝達の方法を教えてください。

○福祉関係の情報を提供していただきたい。

○私たちの活動をお知らせできる方の情報(視覚障がい者の方の情報)

○今回初めて自治基本条例を読んで、“そうなのか”とわかったので、定期的に活動内容を提供して欲しい。

○町の小学生及び中学生の各子ども、生徒の集団活動に関する情報(行事など)

○推進会議の内容を分かりやすく町民に知らせてほしい。

○町民活動団体にはどのような団体があるのか情報を提供していただきたい。

○町には、ハードとソフト事業があると思うが、私たちに直接関わるソフト事業が議会でも審議されていると思うがホームページ・議会だよりなども要約されていて中味が見えにくい。工夫をして下さい。(要望)

○防災に関する資料(地震、津波)

<公民館への意見>

○町民センターの利用方法(会場・備品等)

○公民館利用者として、元の中央公民館の跡地について、どう考えているのか知りたい。現在室内運動(体力作り)するホールが各グループに必要です。

○ホームページ上に各公民館で活動している、種目・サークル名・活動日・時間等々の情報が有ると、参加者も増加するし活動が活発になると思う。

○年度始めに公民館、町民センター、その他の年間行事予定(日程)が配布されると計画がたてやすくなります。(例えば公民館主催の合唱祭要項等、10月開催なのに8月だったり…、準備が十分できるようになればと思ったことがありました。)

○各公民館で活動しているサークル(内容)を紹介する機会があれば、新しい事を探している人の参考になるのでは…と思います。

<公民館への要望>

○南部公民館の1ヶ月ごとの使用サークルの代表者氏名を公表してほしい。

いま、町民の町政への参加の権利を保障するものとしてパブリックコメント（重要な計画などの策定、実施するときに町民の意見を求めること。条例第20条 資料9ページ）や審議会等への公募委員としての参加（条例第21条 資料9ページ）などが制度化されています。また、町民の意思を直接確認する手段として住民投票（条例第24条 資料11ページ）を行うことができるとなっており、住民投票に関するその他の事項は条例で定めることになっていますが、まだ定められていません。

5 そここでお聞きしますが、貴団体としては次のどの考えに近いですか。

- ① 町が他に優先してやることのあるということなら、定めると決まっても住民投票の制度化は先に延ばしてもよい。
- ② 今後、町民の意思を求める案件が出ないとも限らないし、町として決めたことであるから住民投票ができるようにしておいた方がよい。
- ③ わからない。

	回答数	割合
①	21	17.80%
②	73	61.86%
③	24	20.34%

(未回答9)

※住民投票についてはできるようにしておいた方がよいという答えが約60%を占めました。この結果を真摯に受け止め、対応していく必要があると考えられます。

	町が他に優先してやることのあるということなら、定めると決まっても住民投票制度の制度化は先に延ばしてもよい。	今後、町民の意見を求める案件が出ないとも限らないし、町として決めたことであるから住民投票ができるようにしておいた方がよい。	分からない	
NPO	33.3%(1団体)	66.6%(2団体)	0	回答数3
ボランティア団体	16.6%(2団体)	50%(6団体)	33.3%(4団体)	回答数12 (未回答1)
生涯学習団体	16.1%(10団体)	66.1%(41団体)	17.7%(11団体)	回答数62 (未回答4)
生涯学習・ボランティア団体	40%(2団体)	40%(2団体)	20%(1団体)	回答数5
その他	15.4%(2団体)	76.9%(10団体)	7.7%(1団体)	回答数13 (未回答1)
不明	17.4%(4団体)	52.2%(12団体)	30.4%(7団体)	回答数23 (未回答3)

団体の属性に限らず、多くの団体が住民投票条例制定の必要性を感じていることがわかった。ただし、「分からない」という回答が団体属性によって2割から3割あり、自治基本条例、そして住民投票そのものに対する理解を深めることの必要性も示しているといえる。

また、町民と町が適切な役割分担のもとに協力しあい、魅力的で住みよい町とするため、次のまちづくりの指針が定められています。

まちづくりの指針（条例第5条 資料4ページ）

- 1 子どもたちが地域社会にかかわりながら健やかに成長できるまちづくり
- 2 子育て環境の整ったまちづくり
- 3 歴史と文化が息づき教育が充実したまちづくり
- 4 豊かな自然と快適な生活環境が整った環境共生のまちづくり
- 5 地域社会に根ざしたにぎわいと多様性のあるまちづくり
- 6 保健と福祉の充実したまちづくり
- 7 産業が発展し活力のあるまちづくり
- 8 誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり

そこでおたずねしますが、

6 魅力的で住みよい町とするため、上の1から8までのうち何番が一番重要だと思いますか。一番重要と考えるまちづくりの番号を1つ記入してください。

一番重要と考えるまちづくりの番号 ()

番号	回答数	割合	番号	回答数	割合
1	7	5.65%	5	12	9.68%
2	7	5.65%	6	10	8.06%
3	6	4.84%	7	8	6.45%
4	15	12.10%	8	58	46.77%

(未回答3件、1・7の複数回答1件あり)

※一番多いのは、8「誰もが安全で安心して暮らせるまちづくり」、2番目は4「豊かな自然と快適な生活環境が整った環境共生のまちづくり」となっており、「安心・安全」、「自然と快適な生活環境」に高い意識を持たれていることが伺えます。

7 そのほかで関心のあるまちづくりはありますか。上の1から8までの中からお選びください。(複数選択可)

番号	回答数	割合	番号	回答数	割合
1	52	16.15%	5	25	7.76%
2	36	11.18%	6	50	15.53%
3	33	10.25%	7	42	13.04%
4	44	13.66%	8	40	12.42%

※比較的回答が分かれてきましたが、一番多かったのは1「子どもたちが地域社会に関わりながら健やかに成長できるまちづくり」、2番目は6「保健と福祉の充実したまちづくり」となっています。

8 貴団体の活動分野は上の1から8までのどの番号に該当しますか。

番号	回答数	割合	番号	回答数	割合
1	17	9.04%	5	47	25.00%
2	8	4.26%	6	29	15.43%
3	53	28.19%	7	7	3.72%
4	13	6.91%	8	14	7.45%

※一つの団体が、複数の活動分野で活動していると回答している場合もあるため、総回答数に占める割合としていますが、3「歴史と文化が息づき教育が充実したまちづくり」、5「地域社会に根ざしたにぎわいと多様性のあるまちづくり」を活動分野としている団体が比較的多い結果でした。

9 前問で選ばれた関心のあるまちづくりについて声かけがあった場合、他の団体のみなさんと一緒にまちづくりにかかわってもよいと思いますか。

- ①既に他の団体と連携して活動している。
- ②連携して活動してみたい。
- ③関心はあるが連携するかどうか分からない。

	回答数	割合
①	45	36.89%
②	28	22.95%
③	49	40.16%

(未回答5)

※関心があるが連携するかどうか分からないと回答している団体が約40%を占めました。声掛けの仕方が肝要と思われます。

①すでに他の団体と連携して活動している団体等の内訳

NPO	0	回答数45
ボランティア団体	15.6%(7団体)	
生涯学習団体	53.3%(24団体)	
生涯学習・ボランティア団体	8.9%(4団体)	
その他	15.6%(7団体)	
不明	6.7%(3団体)	

② 連携して活動してみたいと答えた団体等の内訳

NPO	7.1%(2団体)	回答数28
ボランティア団体	3.6%(1団体)	
生涯学習団体	57.1%(16団体)	
生涯学習・ボランティア団体	3.6%(1団体)	
その他	14.3%(4団体)	
不明	14.3%(4団体)	

まちづくりについてすでに他団体と連携して活動している団体については、約半数を生涯学習団体が占めており、町内の団体数の多さを反映している。

これからさらに連携して活動してみたいと答えた団体の割合は、生涯学習団体が約半数であり、まちづくりについて町内の団体が連携・協働して行っていく際、中心的な役割を果たす可能性があることを示している。

10 また、関心のあるまちづくりについて、町の担当者から町や他の団体と連携、協力して活動をお願いする場合、町の担当者が気を付けること、あるいは配慮してもらいたい点がありますか。

- ①ある。
- ②特にない。
- ③わからない。

	回答数	割合
①	47	41.59%
②	34	30.09%
③	32	28.32%

(未回答14)

※約4割の団体が配慮してもらいたい点等があるという回答でした。協働を進めていく上での多くの重要なご指摘が寄せられたと思います。

<提出されたご意見：①あるについて具体的に>

<行政への意見>

- 1)謙虚になること、役所の論理を押しつけないこと。2)「それは無理です」と言わないこと。3)「まずルールを作ってから」などと先延ばししないこと。
- 情報は具体的に。詳細に。
- 詳細に調査し、内容は具体的に。
- 職員の繋がりがあまり出来ていないので年度が変わるたびにとまどいます。
- 担当者が変わると、前年度の反省が生かされず堂々巡りをしている気がする。団体は(毎年恒例行事について)把握しているが担当者が理解不足ということが多々ある。
- 町の職員、町会議員等はずっと先頭に立ち、積極的に町の活動に参画すべきです、担当以外は他人事として思っている。これでは町の活性化は皆無です。全ての課が順番に参画するようにならないと町全体の心が動かない。
- 主催は町がやり、運営・企画等は民間団体にまかせ、参加者負担で税金を使用しない方法を考えるべきで有る。
- 担当者の資質に大いに問題がある様に思います。是非改善して欲しい。
- 担当者が団体の活動に対して理解が不足しているのではないのでしょうか。
- 日程の調整などに時間的ゆとりがあると良いと思います。
- 町の担当者は専門家であるはずで、一つのビジョンを示し、それを達成する為にどうしたら良いか等、考え方はどうですか。各団体バラバラに意見を出してもまとまらなないと考えました。

<行政への要望>

○町の担当者の役割、配慮しなければいけない点として、テーマが決まっているとしたら、その情報を事前に協力者等に提供し話し合いの場において充実した時間(タイムスケジュール)を組み立てていただきたい。意見がいろいろ出たものをまとめて次回での方向性をより発展的なものに導く力を求めます。

○継続的な活動になる場合、町の担当者の交代があった時の引き継ぎをきちんと行ってほしい。

○先頭に立って指示をしないと我々は動けないので、時間のむだになってしまうので、素早く動いて(指示)してほしいと思います。

○自ら担当する業務を充分理解すること。(気付いたら率先して提案する姿勢も)・近隣都市の状況も把握しておくこと。

○行事实施数の結果報告が欲しい。

○自主性をそこなわないようにする。

○住民の願い、要望、意見等無駄な事かなと思われてもしっかり心に止めて一応考えて実行に移す事を切望する。(流してしまう事が多すぎる。)

○早めの日程連絡。

○具体的に・市民/市民活動団体と同じテーブルで協働を行うということを自覚する。・行政の担当者は、協働の目指す目的とその必要性を良く理解すること、みんながやっているからでは上手くいかない。・協働は公開制と説明責任がついて回る。結果の検証と公開が必要。・協働相手を安価な労働力とか、業務委託先と考えること。・まあ何処にでも書いてあることです。

○新たに作る協働事業は、各グループや団体を公募する、それをすべて公開の下で行う。常に公平性を保ってほしい。

○活動の内容を十分に把握して、具体的な提案にしてほしい。

○当クラブの「花のpromナード作戦」は8年目を迎え、ボランティア団体や中学生の参加で、コラボレーションの輪がひろがっているが、もっと多くの町民が参加できるように広報誌で紹介したい。ボランティアを募集するというコーディネートをお願いしたい。月1回の作業はクラブだけでは荷が重く、本来町民有志一同の協働が理想だと思うので。

○日程

○納得出来る説明

○例えば公民館まつり等、他の団体との連携がとても重要ですが、その際に事がスムーズに運べる様、パイプ役、アドバイスをする等、もちろん協力もして欲しいです。

○主旨、目的等を理解し、全員一つの方向に(一丸となって)向いて、積極的に前向きな気持ちをもって施策を推進すること。

○町の担当者が「協働」の意味をちゃんと理解してほしい。自治基本条例をしっかり頭に入れておいてほしい。

○行政サイドの意識の変革。まちづくりは行政では出来ないと思うこと、そういう時代になってしまった。行政の役割は触媒。寒川には100近くの住民参加のサークルがある、これらは住んでいる町を悪くしようとしているものではない。今あるこれらの住民参加の集いを支援すること。フリータイムで利用できる場所の新設。町は金がなくても出来ることがある。

○活動の内容や目標を明確化してほしい、凜然とした計画やゴールの見えない様では協力したくてもできない。

○協力する団体に対し、書面のみではなく、内容を具体的に説明し、当方も理解出来る様、気配りをしてほしい。

○①誰が、何を、何時までに、どの様な方法で活動するのかを常に明確にして取り組んでもらいたい。②実践出来るものは即実践してもらいたい。(時間を賭け過ぎると町も当方も職員異動等でうやむやになり易い。)

○①まちづくりのテーマを明確に具体的に提案すべき。②行政各セクションが一つの束になって方向性を出してもらいたい。③町の考えを押しつけるのではなく、構想段階から議論に参加させて欲しい。いっしょに作り上げてゆくのが協働と思っている。

○私達団体は女性ですので、他の団体と連携するならば、同じ女性の団体で、女性の視点で参画できるようにしてほしい。

○サークルの自主性を尊重してほしい。

○いろいろな面でもっと専門知識を身につけてほしい。でなければ外部から様々な知識を持った人を集め、ミーティングを定期的に行い知識を高める。

○机上での話し合いにならない様、まずそれぞれの活動の内容を把握するために、その活動場所に足を運んで体験する等して欲しいと思います。

○私達団体は防災、献血、高齢者サロンと活動をしています。防災関係の職員の異動でもっと連絡を密にしたいと思っています。

○音楽関係発表会開催の時期について配慮してほしい。例えば、H25.3.2、公民館祭り、H25.3.30、町主催の器楽発表会。開催間隔が短すぎる。

<その他>

○基本的には同じ趣味で集い合う仲間だから、町づくりのために集まったものではない、納得できる説明、時間を要すると思う。

○高齢者が多いこと。

○①マージャンはボケ防止に良いと思います。②指先を使うので健康上良いと思います。③仲間が出来る事。上記①②③をやるためには賭けない、飲まない、吸わないをモットーに進めること。

○防犯パトロール、暗い場所、危険区域、街灯の設置。

○傾聴ボランティアは、あくまでも相手の心と現実を近いして良い聴き手となり、心のケアをすることを目的としています。その上で必要とする所があれば、出向くことが出来ます。・おまり多くは苦しいです。

○日にち、時間が合わない連携出来なくなってしまう。土曜の午後は不可能です。

○強いて言わせて頂ければ、各団体はそれぞれ基本的な理念を持って活動している組織団体である。100%適うとは思えない。その間を取り持つと言うことはかなり難しいと思う。途中で分裂もありうる。その責任をどうするのか？ここのところが懸念される。十分な精査が必要。

11 ところで、魅力的で住みよい町とするためのまちづくりに、町民みんなで取り組む雰囲気町内にあると思いますか。

- ① あると思う。
- ② あると思わない。
- ③ わからない。

	回答数	割合
①	38	31.15%
②	40	32.79%
③	44	36.07%

(未回答5)

※あると感じている団体と、あると思わない団地は拮抗している状態でした。

12 前問で①又は②の場合、それはどんなときに感じますか。

<提出されたご意見：①の場合>

<町主体行事(関連団体主催含む)について>

○フリーマーケット、産業まつりなど毎年人出も多く、盛り上がっていると思います。

○町の行事に参加して感じました。

○公民館まつりのとき。

○町長とのまちづくり懇談会に積極的に参加する方々が少数ではあるがいらっしゃる。

○町ぐるみクリーンデー ・町民運動会 ・産業まつり ・文化祭

○町ぐるみ美化運動、ゴミの分別収集、イベントでのマナー。

○町の文化活動時、各Gの参加協力が多。

○8/20 No.8まちづくり懇談会に参加しましたが、その中で建設的な意見や様々なアイデアを守っている方がたくさんいらっしゃる事がわかりました。

<町民主体の行事(町連携含む)について>

- 町主催で行われて来た行事が年々変わる中、心ある方々が自主的に活動されて、ささやかですが協力し合っ
て良いものを残そうとしています。作り上げようと考えている方も今は動けずにいる人もいます。
- 町が中止した事業を町民で復活している、花火、福祉フェスティバル等
- 去年、寒川町北部公民館からの全体会議に参加して、各地域において色々な活動方法があることを知りました。
- 町の予算がなくなっても、手弁当の行事を行っていること。
- みんなの花火、びっちょり祭りにしても大成功だと思います。三位一体となって努力を惜しまず成功するとのみ
を視て行動することだと思う。
- びっちょりまつりとか、みんなの花火大会は誰でも参加でき楽しみ癒やされる最高の時間だと思います。
- スポーツ団体とかエコネットの活動を広報などで見た時。
- 草の根的に種々のボランティア活動にとり組む人、団体が増えていると感じる。

<自治会・地域の行事など>

- ゴミ当番や掃除の時、協力的です。
- 当該地区の活動は活動でよく判るが、他地域の活動をあまり見聞きした事はないので、そう思う。(例)子供見
守り隊などの組織や活動が他地区にあるか否か不明。
- 私の住んでいる桜町は高齢者にやさしいとirikみしています。回覧板を通して知らされるので良くわかります。
- 自治会活動や公民館活動は比較的活発に進められていると思う。

<その他>

- 各種イベント等の参加率が高い、ボランティア活動に熱心に取り組んでいる人が多い。
- 各種の催しの参加者も多いと思う、何かしたいと思う人が多いのだと思う、その人達の関心をまとめられればと
思う。
- 内容が理解でき、周囲の人達と仲間意識が出た時・趣味が合致した時。(祭りなど気軽に手伝えるもの等、ゴ
ルフ、ボーリング、踊り、釣り、囲碁、将棋、カラオケ仲間などなど)・グループ、サークル(小さな組織)で、協力、取
り組む、入っていく。
- 大会とか会議で感じます、長(リーダー)の人間性をしっかりしてほしい。
- 公民館活動や、タウンニュースなどで様々な団体の活動がわかるのでいい。
- 町民センターや中央公園等、年齢、男女関係なく参加出来る行事がたくさんあり、とても活動的であると感じて
いる。
- 町議員さんが熱心・老人が元気、公民館が活発。
- 公民館まつりや文化祭、地域のおまつり等、協力しあって盛り上がっていると思う。
- ある。美化運動などへの取り組み。
- 特に私は、色々な団体の中で活動しているので、環境問題、健康、生涯学習等に関心を持っている方は多いと
思います。
- 今まで見知のなかった人達と話をかわす時(face to face)・町外、町内の団体、個人から支援(金銭、物品)
を頂いた時。
- 観光ボランティアガイドや観光サポーターを一般公募したところ、積極的に応募していただいた方々が以外と多
くいらっしやった。
- 地域の祭りや、町のイベント、それに集団でする美化運動などです。
- 旧住民と新たに移り住んだ住民との壁をなんとなく感じる。①の人もいても②③はいてもあたりまえです。一生
懸命と取り組んでおられる方も大勢います。
- 議員さんの質が悪いと思う、人まかせでなくもっと人材があると思うのですが、町民の無関心がいけないと思う。

12-②の自由意見 町民みんなで取り組む雰囲気があると思わないとした場合にどんなとき感じたか。

<町主体行事(関連団体主催含む)について>

○行政主導の考えが役場にも、行政を頼りにする考えが住民にもあり、主体性に欠けている。役場が住民の主体性を育てないように押さえて来た歴史がある。(役所の言うことが聞けないようでは話にならないと言った課長がいた。役人風を吹かすな。)

○役場の人の積極性、努力が見えない。

○やりたい人は勝手にやればよい、全く何処風吹くの如しです。文章を作成して、こうしよう、ああしよう、かけ声のみ役場の人間は町民でないみたいな行動です「自ら町民であれ。」・町の催しの時など、町のボランティア活動にも全くかかわらない1人2人はいる。税金で生活しているのですから町の為にもっと敏捷に行動し文句が出ないように、皆の心がスムーズに行くように、足を1歩前に出して欲しい。籠もって書類をつくる事は誰にも出来る簡単なこと、実行、行動が伴わない。自らが町民になりきる事です。

イベントの参加者が少ない。例、公民館まつり、文化祭、etc

○町民と町職員との問題意識にギャップが感じられます。

○町民としての一体感が感じられる機会(イベントなど)がない。

○町自身が色々な事に前向きに進めようとしていない様に見受けられます。

○投票率の低さや町政への無関心。公募の委員とかも応募がないと聞いた時。

○町の事業に参加する人が少ないように思います、良い企画のものが沢山あるので、もっと大勢の人が参加すると良いと思うし、もったいないと思います。

○町ぐるみ美化運動に参加している時

<自治会・地域の行事や町民主体の行事(町連携含む)について>

○一般町民が独自に行っている活動はあまりないように思われる、行政主導のものが多いのでは。

○市民活動推進のためのインフラが整備されていない。他行政との決定的な差はサポセン情報が得られないことと、それが当然と受け取られていること。サポセンは今では協働の情報発信基地であり市民活動の拠点となっている。・個々の活動で終わってしまいコラボが生まれにくい。(他団体の情報が極めて入手しにくい)・GSR活動等の企業情報が少ない。(無い)・何か行動を起こそうと思ったときは横浜、藤沢、茅ヶ崎、海老名のサポセンを尋ねるか他地区の団体に協力を要請することが多い。

○殆どの団体は、サークル活動で町民の為に全体で連携しようとは思っていないのではないかと、自治会活動とサークル活動は、自ずと違うのではないかと、両活動をどうマッチングさせるかが重要と思います。

○町民同士の団結や協調性に欠ける事が多く感じる。

○町の行事等(訓練含む)いつも同じ人ばかり。

○老人会の会合の時、役員とか会長をいやがってやる人がいない。

○自治会に入らない、又は脱会する世帯が多いこと。

○地区班長をしていた時、町の行事に声かけ、さそっても中々参加していただけない。

○自治会等に象徴されるように、上に立つ人が勘違いして偉くなってしまい、住民目線で事を運ばない人がとかくいる(成熟していない人達が)。ゆえに輪(和)がとれず、事業をしても参加者が1割にみたない。参加者は殆ど役員などの現象が起きる。

○色々な事に対して協力をお願いしても無関心である、高齢の人が多いためか?、そんな人達が今多くなっている。

○一般的に寒川町民は、自治会活動、サークル活動、ボランティア活動に対して、消極的に感じます。

<その他>

○いろいろな行事に対しての協力が少ない。

○少々、文化程度が低いと思います。興味あるものしか活動、協力が少ないと思います。

○何かの行事の時の協力が少ない。

- 自己中心的。
- 自己主張はするが協調しない。・町の担当者に任せきりで自分達で話し合ったり協力しようと思わない。・合理性は良くなってきているが、人と人の係わりが希薄になっている気がする。
- 具体的な目標が見えないので関心もわからない。
- ゴミ問題です、道端に草むらに家庭ゴミ、衣類、布団、カン、ペットボトルが捨ててあり、町で便利良くゴミ収集日がないのに信じられないと心が痛い思いの光景です。(近くの者が片付けてもすぐ捨てられている。)
- 参加人員が多いとは思わない。町民全員が目的意識を持つことが重要である。
- 若い人達が寒川町に魅力を感じていないようだ。寒川町では子育てしにくいと感じる。地域の活動に若い人達の参加が少ない。
- 各種催しが行われても参加者が少ない、PRの不足も1つの原因。
- 隣、近所、周りに迷惑にならない行動してもらいたい！
- 町民としての一体感が感じられる機会(イベントなど)がない。
- 担当者等の気概があるかどうかでいくらでも変わるところである。
- 無関心の人が多いのではないか。
- 自分に直接関係のない人は無関心の人が多い様に思われる。(投票率などにみられる)
- 町民が楽しめる行事がなくなっている。
- 今の制度は、頑張っている人が報われない世の中の様だ？すべて投げ捨てギブアップした人の方が報われる世の中の様だ？町は、町民参加のまちづくり、協働のまちづくりと言葉は非常に綺麗だが条例を作ったことで負担が増えているのではないか。どんなときに感じるかの設問であるが、最近は何かすべてに感じる。少し強烈かな？

13 町民が、まちづくりにつながる地域の活動にさらに参加しやすくするために、町はどのような支援やとりくみを行うべきと考えますか。特に重要だと思うことに2つまで○をつけてください。

	回答数	割合
① 地域活動リーダーの育成や知識修得セミナーを実施する。	25	11.63%
② まちづくりを行っているグループ、団体の情報を集め情報として提供する。	56	26.05%
③ 会場の場所を確保できるよう支援する。	26	12.09%
④ 活動上で困っていることを解決してくれる専門家を紹介する。	8	3.72%
⑤ 先駆的な取り組みを行っている活動への人的支援を行う。	14	6.51%
⑥ 町が持つまちづくりの課題などの情報をわかりやすく広報する。	76	35.35%
⑦ その他	10	4.65%

※「⑥町が持つまちづくりの課題などの情報を分かりやすく広報する」が1番多く、広報を充実することが求められています。また2番目として②「まちづくりを行っているグループ、団体の情報を集め情報提供する」が重要とされており、情報の収集と提供が必要であることが伺えます。

＜提出されたご意見：⑦その他について具体的に＞

＜行政の取り組み＞

○1) 役所が「協働」の意味を全職員に徹底すること。2) 役所が各町づくりの計画達成に責任を持つこと。(出来るだけ言い出さない。出来るだけ責任をとらなければならないことを言い出さない。RISKを取ろうとしない。)

○(⑥について) 課題を共に考えてほしいと情報収集をしては？(⑦について) 町民が求める内容は皆さん違ったニーズを持っていると思いますが、地域活動に参加してのメリットを情報として伝えることで、支援のあり方が具体的に増えて来て形になると思います。町議会議員さんの活動の紹介をしたりして、町の動きも含めて、町民理解を進め、町が取り組む未来計画を具体化して協力を求める。紙面での動きでは何も変わらないと思います、どう動くか、まず行動を行ってほしいです。

○まちづくりを阻害している一因として高齢化があるが、逆に隠れた能力を持っている高齢者を上手に活用することを考えるのもいいと思う。

○リーダー養成とかセミナーに参加とか、語り屋に金を払っても人は決して育ちません。自分たちで何をすべきか考えてクオリティをする事。真のリーダーは自分たちで育てる、やらせる、セミナーに参加させても、その人はリーダーになれません！税金の無駄です。

○町として、どのような活動をして、どうしていきたいのかを明確に示してほしい。その目的に対する現状の課題を示してほしい。

○[広報さむかわ]からの情報しか入手できない、詳細にはよく見ていないのが現状では、各種文化活動の情報を[広報]以外でもPR出来ないか。

○すでに用意されているものかも知れないが、①どんな団体があるのか。②活動内容。③団員数。④入会条件と連絡者宛先等の一覧表。

○年齢を問わず、全ての人達が特にできるような取り組みを考えてほしい。特に高齢者社会の今、皆さんが何か思い出し、生きがいのある生活をできる様にする事で、町全体が活性化してくると思う。

○大人は頭が固いので、小さな子供達に教育する。学校で自治基本条例を教え、協働の大切さを教え、大人になった時町づくりに参画するような大人を作る。

○フリースペースのある活動場所の提供。・無線LANの利用できる場所の提供。・今、建設予定地で駐車場になっている場所にテントでの。・「ひきこもり」の人を増やさない策、健康な高齢者(特に男性)、社会的な活動希望の人が増加中。

○高齢者の経験と知識を活かす方法、組織を考えてはどうか。

○町民の意識や興味を育てるべく、具体的な教育をしたら良いのでは。

○⑥については、町広報紙と共に、HP、ブログ、ミニコミ紙等を活用し、解り易く身近な情報提供を今後も続けてもらいたい。

○思いやりのある、人の痛みがわかるリーダーの養成。このような人を沢山育成すること。明るい豊かな社会実現のために。

＜自治会・地域団体等への取り組み＞

○前問12で記したグループ(趣味等の)を活用する、勿論、自治会、町内会でもよいが。

○地域活動をしている団体は比較的多いと思うのですが、団体同士を結びつけるネットワーク支援をして欲しい。

○一地区の活動で良いものがあれば他地区にも紹介し、全体に広げていく仲介の役割を持つ職員を、或いは職域を設ける。小谷自治会などに職員が定例会に参加しているのは、その一端で、その職員が町役場の中で他地区に出席した職員と情報を共有し合い全体に良策を拡げて行く事になればそれでも良い。

○すべての項目が必要であり、不足していると思うが、協働相手が抱えている問題を共有するところからすべてが始まる。市民活動を行っているボランティア団体、町内の企業、行政が各々相手を知り課題を理解し解決に向かって活動していくことが目的であるから。・なぜ今協働が必要とされているのかと言うことを理解し共有すること。・協働推進のための仕組み作りと成功体験が協働を後押しする。・もう既に4年以上が過ぎている。行動する時と思います。

○大蔵地区の防災組織は模範的です。自治会の大小にかかわらず普及できると思う。その場合、行政の人的支援が必要と思うが。

○自治会からあがった問題の町からの解答を自治会におろしてほしい。問題を聞いただけにしないでほしい。私たちが読んでみたくなる広報にしてほしい。

○ボランティア団体ですが、知識の修得は常に必要です。町の又私達に必要な情報も知る必要があると思います。(苦しめない程度に)

○団体の町内ネットワークを作してほしい。前からお願いしているが、互いに理解し合い、活動の相乗効果を出せる環境として、まず必要と思っている。

○寒川は企業が多いはず、町の行事等参加を積極的なアピールはどうですか？特に若い人達に呼び掛け、新しい考え方、意見を参考にすることも必要と思います。

○②に近い活動が町と自治会と情報交流会が発足しました。これは7月から開始された地区担当職制度の経過をみる必要があります。既に各自治会の問題、課題が既に抽出されています。・町民センター(公民館で行われる行事について月毎に一覧表にして広報にのせてほしい。・美術協会は絵画、陶芸を通じて文化を高める町づくりをしたいと思っています。

○活動をする際に自分達の資金の負担が多く、活動に必要な備品の整備をして欲しい。町民活動に対してもっと町としても積極的な係わりを求む。

<その他>

○例えば、空いている土地に適していればブルーベリーを植え、ブルーベリーの里として進めていく、関連した事業がおこっていくと思う、観光と人もPRする。

○講師が机をたたき怒鳴ったり、脅したり、活動が楽しくないこと等、相談できる窓口があつたらいいと思います。

○高齢化が進む中で、集会場のテーブルは低いものが多く、テーブルは高い物、イスにすわれるように。

○問7で述べた事柄。通学路に他町の畑が放置され夏には草が3メートル+高い土地2メートル=5メートルになり、3メートル位のフェンスにつたがからみつき、内が見えなくなり、又角地で見通しがまったく悪い所が有り、事件事故がなければいいがと通る3人皆が困っている。草を刈ってほしいと願ひ出るが、町では受け入れない。人権問題で地主を教えなさい！！その様な為にぜひ町にいてほしいです。

○自身の好きなものにだけ参加をしますが、他人や地域の為というような考えをもっている人は少ない、又、グループ活動を進める為にはリーダーが必要ですが、それすらやる人がいないという事が現状です。

○女性はとっても元気ですが、男の方がもっと協力的であると良いと思います。自治会も良くやっている所があります。災害がある時にもっと町民が協力がほしいと思います。

14 あなたの団体が、活動していくうえでいま困っていることで、町が支援すべきと思われるものがありますか。

	回答数	割合
① ある	58	48.74%
② 特にない	53	44.54%
③ わからない	8	6.72%

(未回答8)

※約半数の団体が支援すべきことがあると考えており、具体的な内容は、各種情報の公開、活動場所、会員募集への協力などを中心に、支援すべきと考えている内容があることが伺えます。

<提出されたご意見：①あるについて具体的に>

<行政への内容>

○情報公開が非常に少ない(議会も)。密室化している。都合の悪い情報は公開しない。(例)健康にすると云うがデータ(医療費の内容など)の公表はほとんど行われていない。健康かどうか分からない。

○活動していくうえで町に支援を求めるとしたら何かありますか。として。子育て中の親が自由に利用出来るフリースペース。(子育て支援センター内に有るものとは別です)

○会員が減少しているの、広報等で会員募集の場を作してほしい。町民センター主催の中国語講座の受講生に我々の活動を紹介する場を設けてほしい。

- 活動資金の援助。
- 絵の団体だが、美術協会との関係、文化連盟との関係などよくわからない、また横のつながりがあってもよいのではと思う。
- 高齢化が進むなかで小、中、高校生等に呼びかけていますが、町でも各学校にご支援を頂きたい。
- メンバーが高齢化し活動に制限がある、平日活動出来る男性、60～65歳位のメンバーが集まらない。
- 少子高齢化時代により全員増強に苦慮。・活動資金でサービシ的(住民、参加者への)資金の減。(会費を今更上げられない為)
- イベントの詳細の事柄について、広報等に掲載して頂きたい。地域の掲示板等の利用も可能にして頂きたい。
- 会員の高齢化。会員が増えない。
- 活動の場の提供。・市民活動推進のための行政の精神的なバックアップ、その向こう側に協働が有り、まちづくりに繋がる。
- 町民主体の自治と文章にうたっているが、町の職員、町会議員の方々は町民ではないと思っているようです。自ら町民であると思うなら考えを換える事です。支援するとは町民でないものが町民を支援すると云う意味でしょうか。
- 文化祭の資金不足。
- 会合の場所の確保。
- リタイヤした人はボランティア活動をすることで町の為、人の為、自分の為になります。そうした人達を集めて各ボランティアグループが活動を紹介し、同好者を増やせるような機会を作ってほしい。
- 福祉活動の拠点整備をお願いします。
- 団体の活動や組織のことなど、その上部団体にも向き合って、しっかり話をしてお互い理解する作業がまず必要かと思ひます
- 新しい会員が増えない。広報とかでサークル紹介など、また始めてほしい。
- 活動場所と利用可能できる幅を拡げて欲しい、職員、議員、民間での共同勉強会、発想でコミュニケーションの量と質を拡げる。
- ①参加者を更に増やしたい。都会に近いこの町を本当の「水と緑」の町つくりの礎を作りたい。②活動に町長、議員、職員が個人としてもっと参加するよう、できるよう支援してほしい。必要な啓発をまず身内からやってほしい。
- どのような団体があり、どのような活動をしているのか情報を提供していただきたい。
- 手話通訳者を育てる為の講習が少ない。本当に通訳が必要なのか？と思う。(去年から津役養成は5、6年振りらしい。)
- 生徒さんが少ないので大正琴のPRして頂けたらと思ひます、よろしくお願ひ致します。
- 寒川町の国際化を英会話教育の充実でみるべきと思ひますが、生涯学習推進会議への補助金が殆ど出ない。→改善して欲しい。
- 私たちのクラブは奉仕を基本として活動している団体です。よって、町の要望も含めて、5年ごとに記念事業として実施しています。40年もたつとメンテナンスが必要になってきているものもあります。そこで、寒川駅南口に寄贈した「青少年育成啓発広告塔」がその一つですが、ロータリーが寄贈したのだから？と言われても困ります。又、クラブの名前が記されているので公共的イメージが非常に悪い。その話し合いを持つべきと思ひますが、お金が無いの一点張りは如何かと思ひます。
- 現在、団体に対する活動の方向性などの助言はなく、予算だけが減額されている。行政の苦勞も充分理解出来るが、今は団体と遊離しているように見えます。予算がないの言葉は禁句にして、アイデアとアイデアの出会いで行くことはではないでしょうか。・1. 展示期間の延長。2. 予算の増額(文化祭)。1. について、①作品の搬入・受け付け ②陳列 ③審査 ④表彰 ⑤プログラム作成 ⑥搬出等、会期を含め9～10日必要(特に②③⑤は時間がかかる。2. について、作品の搬入、搬出。表彰者の賞品は文化祭等年々低下しているため、補助金、委託料の増額。(※茅ヶ崎市美術品会展期間は会期を含め26日間)
- 高齢化しているので、後継者をどうするか。
- 団体が高齢になっており、若い団員がほしい。

<公民館等への内容>

- 南部公民館の駐車場が狭い。高齢化で車移動の団員が増えてきているので、小中学校などの空き教室などをもっと利用できないのか？
- 公民館、町民センターでお茶のけいこに炭を使えないのが困ります、防災上ダメなんだろうが。
- 本年3月の町民センターホールの音楽発表会など支援。(場所貸しと費用軽減)
- 現在サークル活動グループが多く成り、会場が不足しています。考えて頂けたら光栄です。
- 町民センター分室での練習を月4回活動を実施しています、以前の様に中央公民館(多目的に使用できる会場)を建てて欲しいです。
- 今使っているカセットやCDは全部個人でおぎなっているの、できるならば団体で使用できるダブルのCDラジカセなど、予算を取ってほしい。(他の課にあるならば回してもらってもよい。)
- 活動場所の提供。町民センターでのピアノの設置。教育研究室、教育学習室と公民館の場所の位置。
- 南部公民館、和室の冷暖房きかなくて踊りが大変でした。
- 楽屋で練習していますが夏は汗びっしょりになりました。
- 施設の優先
- 展示プリンタなど、新機種への変更。
- 活動する場所が少なく、他のサークルと重複し一時活動をキャンセルしなければならない時があった(ダンスサークル)。
- 公民館の場所取り方法をもっと簡単に効率的にしてほしい。
- 中央公民館が無くなり、とても困っています。
- 資料や会報、詠草集などを印刷するのに困っている。(以前は、中央公民館に印刷機があった。)印刷できる機器、及び場所への支援。
- コーラスグループです。ステージの時の照明(舞台)で担当者といつもトラブルります。(人が居ないから色付きは意味ない等)以前は職員が対応していたと聞きましたが対策はないでしょうか。
- スポーツ施設の老朽化対策と施設の維持。
- 積極的な事業展開のための基盤(人、もの、金)が不十分。特に人員(常勤スタッフ)不足(不在)が辛い。
- 施設利用に対しての減免、広報をもっと活用させてほしい。
- 活動日に場所取りを定められた日時に公民館に出かけなければならないのは大変だ、公民館サイドでもNETを使って予約出来るように計画中と伺っていますが、導入計画を明らかにして進めてもらいたい。
- 文化祭などの時、活動する部屋をかりるのに部屋がない時があるので。
- 人形劇の録音をするのに困っています。図書館の録音室が使えるとありがたいのですが…。使用団体に対する条件などあるのでしょうか？

<その他>

- コミュニティバスを土曜・日曜も運行してほしい。
- 困っている訳ではありませんが、第4項の趣旨をご理解ください。(第4項の回答内容=私共のサークルは、町の広報等を録音し、そのテープ、CDを目の不自由な方々の家に無料で配布して居るのですが、この情報を知らない方々が居ると思われるので、町で周知して頂きたい。)
- 部屋の声や音の件、少々考えてほしいです。
- 神奈川県立茅ヶ崎保健福祉事務所が市立になると私たち寒川町民はどうなるのか？
- 後日、別紙にてお願いにお伺い致したいと思っております。
- 話し相手を必要とする人の(個人の心にふれる)事ですので必要と思われる時に、そつと伝えて頂けると何かの役にたつと思っております。
- 中小企業活性化条例等の制定

15 最後におたずねしますが、現在の財政状況下、新たな「町民活動支援センター」のようなハコものを作るより、いま町内に3つある公民館を活用して町民をはじめ町内のいろいろなグループや団体が連携、協力してまちづくりが展開される拠点としたらどうか、という意見があります。そこで3つの公民館をまちづくりを推進する拠点とすることについて、賛成、反対あるいはまちづくりを推進する拠点とする場合に何か注文したいことがありましたらご意見をお願いします。

	回答数	割合
① 賛成	91	79.82%
② 反対	11	9.65%
③ わからない	12	10.53%

(未回答13)

※約8割の団体が賛成でした。反対の団体からも改善のためのご意見を頂きました。

	賛成	反対	分からない	
町民センター	85.7%(6団体)	0	0	回答数6団体 (未回答1)
町民センター分室	75%(12団体)	16.7%(2団体)	6.3%(1団体)	回答数15団体 (未回答1)
南部公民館	94.4%(17団体)	0	5.6%(1団体)	回答数18団体
北部公民館	80%(16団体)	10%(2団体)	10%(2団体)	回答数20団体

公民館をまちづくり推進の拠点にすることについては、すでに所属している公民館、町民センターに関係なく、全体として賛成が多かった。町民センター分室、北部公民館に所属している団体が、「反対」、「分からない」を合計した値が2割を超えている。

<提出されたご意見：①賛成について>

<施設(ハード)について>

○駐車場と駐輪場を確保してほしい。

○団体が集まる場所がほしい。

○中央公民館が無くなり、若干寂しい思いをして居ります。そこで寒中の別棟を補修し、そこを新しい中央公民館としたら如何でしょうか、ご検討下さい。

○センターは本部に作り、支部は3つの公民館を活用したらどうか。

○現在の施設を充実させていただければ良い。(あえて作る必要なし)印刷機、PC。

○中央公民館を活用して行くに当たって、新しく一館した公民館を建築してほしい。

○3つある公民館のままでよいですが、閉館になった中央公民館、出来ることなら、あの場所の付近に立てなおしてほしいですね。北部も南部も行くのに遠いので。

○中部地区に公民館を1日も早く建てる事を望んでいます。

○駐車場が少ない。トイレ洋式に変更(年齢によって使えない)。トイレ設備(ばりあふりーに)。

○町民活動支援センターがあるのは理想的ですが、財政難の時にいわずもがなです。ただ中央の町民センター、1つを拠点とした方がまとまりやすいのでは。(意見)まちづくり推進のアンケートならば、問6以下の設問より、まちづくりの指針8項目が立派に出来ているのだから、①～⑧までの項目1つ1つについて現時点では、〇〇〇〇の事業や活動を行っているが、と例を上げ(具体例)、「他にどのようなものを取りいれたら、推進できると思うか」などの質問の仕方がよかったのでは。①～⑧にあてはまる活動や事業を自分の団体以外は、知らないことが多いから。

○現在ある施設を活用し、ハコものを作る予算があれば、他のことに使ってもらいたい。

○町の財政が厳しい現状では既存の3つの公民館を軸にする。また、地域集会所とうへも町として支援をしていく必要があると思う。(老朽化対策等)

○3つの公民館の核になるような場所があった方がいいと思う。コミュニティセンターのような。(新しく作る事はしなくていいけれど)今ある施設を活用してコピー機、印刷機、パソコンなどあればありがたい。町民センターの前図書室なんかいいのではないのでしょうか。

○財政支出を最小限に抑え、今ある施設(資源)を活用するのは当然。さらに、学校なども聖域化せず地域でもっと活用できる様にすべき。

○財政も厳しくなっているのは十分わかることですが、公民館の老朽化しており、部分的には改修が必要だと思われる。

○古いので建て直しは大変と思うので、一部改修等で多くの町民が使い易い状態にしてほしい。現在は一部の人の利用しかない様です。

○老朽化等もあり、将来的には建て直しも必要かと思いますが、今は中味の濃い活動を進めて行く必要があると思います。

○南部・北部共に建設後長い時間が経過しているため推進拠点とするには問題も多いと思う。内部設備の近代化やリフォームを行う必要有り。

○町民の皆様が気軽に立ち寄れてお茶したり、おしゃべりを楽しむ事の出来る場所が1ヶ所ぐらいは必要ではないでしょうか。

○ハコものを作る財政状況ではないと考えるが、南・北公民館の修繕は必要と思う。

○新たに施設を設けるより、現在ある施設を有効に利用する方法を進めるべきであると思います。

<施設(ソフト)について>

○ただ茅ヶ崎(他市)のような印刷機や折りたたみ機など最低限の装置は必要。趣味(遊び)の会と町づくり活動(責務)とは違うことを明確にして欲しい。

○3館あるのは便利だけれども設備等使いづらい。

○公民館が施設として充分機能するために、維持・管理に必要な予算措置を行う。予算減額をしすぎると機能しなくなる。

○現在使用している長テーブルの中には、壊れている物や、つまみ部分が固くて危険なものが多いので、少しずつでも交換して欲しいです。自販機を充実させて、もう少しバリエーションを増やして欲しいです。

<施設利用について>

○現在使用している人達と、かち合わない方法でやって欲しい、部屋や時間等。

○従来の公民館活動に支障のないように。

○とても気軽に参加できます。

○但し、現在公民館を利用している団体に蹴よせがこないように考慮されたい。←知恵を出せばできると思う。

○但し、公民館まつりの内容の内、ダンスなどの舞踊、コーラスなど舞台上で行うものは一同に集めてセンターで、その他は従来通りに各公民館で行うよう町全体の催事として取り扱っては如何?

○今どの団体が何を。どれくらいの数があるのかなど分からないので、年に何回か代表者が集って話し合ったらどうか?。・3つの公民館に団体等の情報交換ノート等を置いたらどうでしょうか。

○使用方法の改善=申込制、利用者の会への登録制、利用回数、人数の制限などなど。・印刷機器などの設置。・問15設問、文言前半部は不適切ではないか。(不要)

○公民館利用者の会に入会していなくても、地域住民が利用したい時などは、スムーズに使用出来る様にしたい方が良くと思います。

- まちづくりを推進する拠点として、公民館は最も人々が集まり、活動しやすい場所です。もっと多くの町民が利用し、地域の活性化につながればと思います。
- 現在ある3つを拠点に、他にも集会所など使用できる施設はあるはずですが、身近なところでの活動の方が足を運びやすい。
- 中央公民館がなくなり、不便をしているグループもあるようですが、現在の町財政状況では仕方ないのでは、狭くても各グループごと協力し合うしかないと思います。
- 公民館のさらなる効率的な運営の為、ネットワーク等の活用を図る。
- 町民センター、現在「教育研究室」になっている部屋ですが、土、日曜日等、行事がある時に常に閉まっている状況です瞬間、センターの活性を感じません、暗いです。、まつりの時には特に感じます。明るく活力のある町づくりにには疑問です、研究室にとっても良い方法をお考え頂きたいです。
- 大変申しにくい事ですが、センターの教育研究室の存在が不自然に見えます。活性化が見られません。まして3館の町づくり推進拠点とするならば、あの部屋を有効に公民館としての活性化を考えたらどうでしょう。館長も座している所です。もっと有効的に使用して頂きたいです。
- 現在有る公民館、町民センターが効率的に利用されているかどうか…、まず気になるところです。特に町民センターホールの利用の料金等は他市のほうが安く、公民館サークルの場合の寒川は減免率もいまいちの様気がすること、また他市のホール担当者は見学した際など、とても親切に対応して下さいます。まちづくり推進拠点とするならば、まず町民がもっと利用しやすい場所になることが必要かと思えます。

<その他>

- 今まで以上に公民館活動を多くの町民に公開する必要があると思う、まだ知らない方が多くいる。
- 財政の健全化を考えてください。(税金、保険料高すぎる。職員が多すぎませんか。ハコもの不要。)
- 問14で述べましたが、財政豊かではないようですので、しばらくは贅沢は云えないでしょう。
- 役員、リーダーが知恵をしばれば、よい案が出て、男性、女性の視点に立った考えが出ると思えます。
- がんばって下さい。ありがとうございました。
- 財政必要の折、予算執行はほどほどに。
- 現在の公民館職員さん達には、とても親切にさせていただいておりますので満足しています。
- 町民センター夜間利用しています、職員の方達とても親切にいただき満足しています。
- 公民館がどこにあるのか町民の中に知らない人がいる。まちづくりを推進する上で町民の意識の向上を計るべきである、又、活動するグループの人数が少数の団体の方が良いと思う。
- 拠点作りより「ボランティア団体の町内ネットワーク」を作ってください。その上で拠点が必要となった時考えましょう。今、拠点を作ってもどれだけの団体が集うのか見えてますか？
- 毎年、初級・中級英会話集中講座を南部公民館、生涯学習推進員会議でネイティブ講師を町に依頼して続けてきたが、今後は更に充実させる方向で御願いたい。(寒川町の国際化に向けて)
- はっきり言って、こんな設問はアンケートで答える内容ではない。何年も前から町の施策の中で討議されていることであり、行政として町全体の福祉の未来をみすえて決めることです。単純な「ハコもの」うんぬんで解決できません。賛成、反対、わからないの「しるし」をつけさせる方が聞きがちです。安易に”ハコもの”の言葉は非常に語弊があります、「町民活動支援センター」に関する討議の「史、経緯」があります。町民に財政悪化で金がない現状で単なるアンケートで賛成、反対を答うは如何かという外ありません。・国、地方を問わず現在の厳しい財政状況の中、当面は有るものを有効且つ効率よく使用して行く事が望ましい。『心豊かなゆとりある文化的町』をつくるには、限りの無い物、金の欲望から思いやりのある心豊かな人の育成が肝要です。それは即効的に育つものではなく、幼少より自然や芸術・郷土愛などに親しむことにより生まれるものと考えます。美術協会は長年「美術館」の建設を強く要望してまいりましたが、それも前述した主旨からでもあります。将来的には郷土文化財の収集、多目的施設を兼ねて「美術館」の実現を望みます。
- 財政状況下ですので、寒川では他の町との人口に対する職員の人数が多い様な気がするのですが、比較して見たいです。

<提出されたご意見：②反対について>

○公民館は今の現状で充実した内容が行われていると思いますが、参加団体も多く、利用されている方々は生々としているように見えます。3つだけでは現状不足と感じます！！4つあってのいいのでは。今の公民館の建物のメンテナンスとリフォームが拠点としては必要です。町民活動支援センターの機能を他の市町を見て生かしていただきたい。コミュニティセンターとしても新たな空間は求められていると思います。

○現在、町民センターとセンター分室では利用するのに不便です。

○箱ものを作ったからと云って町は活性化しません。何をやるにも先立つものはお金である事は誰もが百も承知の事。もっと職員400名もいるのですから、しっかり考えれば答えはあります。町長以下全て町民でなくては無理です。役職は関係なく、自ら町を良くする心が有るか無いのか、この中の一つと町民が選び自らが行動を起こさない限り他人事では無理な事。

○どの公民館も年数がたっており、旧公民館がなくなり、新たな支援センターの開設を希望します。地域の活動が豊かになるためには、新しい寒川町の施設が必要と思います。

○3つの公民館のやり方がそれぞれ違うので、むずかしいと思う。

○現在ある建物の利用状況を見直し、例えば図書館は月曜日は定休日です、会議などはそういう所を利用する。健康福祉センターは(土)(日)定休日だから、そういう所も利用する。見直せば体育館、公民館、ふれあいセンター？(小谷)等、空いているのではありませんか。

○活動する拠点が足りないと思う、場所とり(連絡して活動する時)大変。

○当ダンスサークルは、広い場所が必要です。3つの公民館の内、使えるのは南部、北部の集会室です。センターはダメ。中央公民館が廃館となり、そのしわ寄せが南部、北部に集中し満足なレッスンが出来ない。財政状況下、厳しいのは解るが先ず何でも”ダメ”があり、どうしたら出来るかを考える事に専念して欲しい。

○「ハコ」と考えないで点と設備などの形式も弾力的に考えて進めて欲しい。公民館利用が利用団体が増えて来て(好ましい)制約の幅がふえて困っている。

○現在、公民館では多くの団体が活動しており、そこに「まちづくり推進拠点」の機能を持たせることは無理が生ずるのではないのでしょうか。「空教室」などの利用は考えられないでしょうか。

<わからないとした場合の意見>

○年齢によって考え方が違うので、良くわからない。

○スポーツ団体では公民館だけがまちづくり推進拠点とは考えない。体育館やスポーツ施設も拠点となり得る。問題点は町民が何を欲しているかによって変わると思う。

○財政が許せばハコものを作っていく方が良いのですが、無理をせず公民館活動をしていくことが先決かもしれません。若い人も参加したり利用したくなる様な内容も考えたいと思います。

○私たちの活動は、人形劇で使用する大道具、小道具、人形などの物品が多いので保管場所の確保が出来ればどちらでも良いです。